



NPO法人石狩国際交流協会

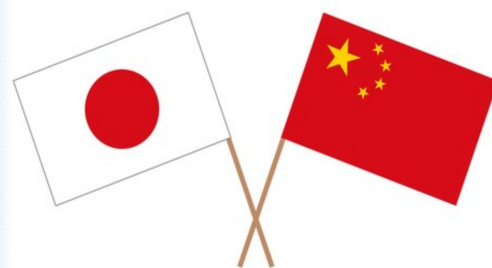


オンラインで首長会談



姉妹都市 中国^{ほうしゅう}彭州市と20周年

世界規模で感染症が拡大するこの困難な時期をともに乗り越え、両市の子もたちが笑顔で楽しい時間を過ごせる日々が1日も早く来ることを願います。





国際理解授業 中国文化に触れて

2020年7月7日に緑苑台小学校6年生を対象に国際理解授業を行いました。

中国の地図、国旗、面積、人口などを説明し、中国のことを少し分かってきたところで、中国語で数字を数えたり、中華料理の写真を見たり、生徒たちは興味津々で聞いてました。

チャイナドレスの試着や中国の伝統スポーツ「ジェンズ」(穴あきの金属板に鳥の羽根を数枚さした物、足で蹴り合うスポーツ。)が大変盛り上がりました。中国のことを少しでも知ってもらえたら嬉しいです。生徒たちと素敵な時間を過ごしました。

事務局 金娜(きんな)



高校生交換留学生 市長・議長へ表敬訪問

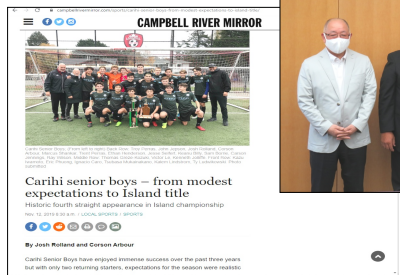
2019年8月から約1年間の予定で、石狩市の代表としてカナダ・キャンベルリバー市内のカリハイ高校へ交換留学をしていた向中野翔さん。未だ世界的に猛威を振っている新型コロナウイルス感染症の影響を受け、志半ばでしたが、2020年3月下旬に緊急早期帰国をしました。

日本国内での感染状況を考慮し、半年ほど経った昨年9月に加藤市長、加納議長へ7か月間の留学生生活を報告してきました。

留学先では特技を活かしてサッカー部に所属し、レギュラーメンバーの一人として多くの試合で活躍しました。試合の様子は地元紙にも何度か掲載され、カリハイ高校はバンクーバー島大会で優勝し、ブリティッシュ・コロンビア州大会では第8位という結果でした。

「翔さんから」

カナダ留学を通して僕が一番学んだことは「絆」です。僕は、カナダでホストファミリー、学校の友達や先生、サッカー部の仲間、ホストファミリーの親戚など数えきれない人たちと出会い関わってきました。沢山の人と関わることで「絆」ができたと思っています。その「絆」は僕の一生の宝物になり、一生忘れられない思い出になったと思います。「絆」を大切に、これからの生活を送っていききたいと思います。



ワールドフェスティバル思い出のロビー展

協会のメイン事業の一つである「ワールドフェスティバル2020 in 石狩」が中止になったことから、市役所と市民図書館を借りてロビー展を開催しました。

2003年の第1回から2019年の第17回までを振り返る形で、当時の写真やポスター、プログラムなどを掲示し、多くの方々にご覧いただきありがとうございました。両会場で塗り絵コーナーを用意したところ、ご来場者から心温まるメッセージを頂戴し、胸が熱くなりました。

2020. 10. 5～9 石狩市役所ロビー

2020. 10. 18～27 石狩市民図書館ロビー



アフリカンデーin石狩

2020年12月13日、アフリカと触れ合う、音楽で一つになるをテーマに、石狩市花畔の多目的ホール「アートウォーム」で「アフリカンデーin石狩」が開かれました。協会は協力団体の一つとして参加しました。

道内で活躍するアフリカドラムグループ「KIKANLA」(キカンラ)によるドラム演奏、北海道アフリカ会(HAS)のメンバーによるアフリカ雑貨の販売を行いました。来場者の人数を制限し、会場内の換気や客席の間隔開けなど、スタッフは皆細心の注意をはらって、コロナ対策をしました。

ドラムの音で会場が一つになり、手拍子でリズムをとったり、肩を揺らしてリズムにのったり、マスクごしですが、皆さんの素敵な笑顔を感じられました。

この様な大変な時こそ、些細な喜びや楽しさを分かち合おう。ご来場の皆さま、誠にありがとうございました。



姉妹都市提携20周年を記念し 青少年交流合意書オンラインで調印

協会では、彭州市との姉妹都市提携20周年の訪問(令和2年11月)に併せ、青少年交流の合意書の調印を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で訪問がままならずオンライン方式により調印を行いました。2020年12月14日に市役所庁議室で行われ、加藤市長、加納議長、鎌田副市長、佐々木教育長、小鷹企画経済部長と協会から佐藤会長、片平石狩日中友好協会会長が出席しました。



主体は姉妹都市提携20周年であり、今後もさらなる友好を深めるため概ね5年の間に経済・技術協力、文化交流、青少年交流、公衆衛生対策の推進に向けて双方で努力する協議書に調印しました。また、この調印には在重慶日本国総領事館渡邊信之総領事、中華人民共和国劉亜明駐札幌総領事らが調印に立ち会いました。

加藤市長はあいさつの中で、彭州市は石狩市の重要なパートナーであると強調。石狩市と彭州市は歴史、文化、社会制度に大きな違いがある中で20年以上にわたり絶え間なく交流を続けてきているが、特に2008年の四川大地震と2011年の東日本大震災、またこの度の新型コロナウイルスでも互いに助け合うなど心と心が結びついた真の友人だと述べられました。また、陳茂禄彭州市長は両市の交流が多様なレベルに広がるよう期待した上で、20周年を契機にさらなる協力交流の階段が上がることを期待していると述べられました。

市の協議書調印により令和3年度から青少年交流を行い相互訪問することで佐藤会長、王会長の合意書調印が行われました。

協会として新たなページが開始されます。

フェアトレードチョコ完売

毎年、石狩市民図書館の売店にてフェアトレードチョコレートの販売をしており、昨年12月上旬から本年(2021年)2月中旬まで、2種類の新商品を加え全16種類のチョコレートを完売しました。

皆様からのご支援がカカオ豆生産者のもとへ届きます。たくさんのお買い上げをいただき、本当にありがとうございました。



市内在住外国人向け交流プログラム



石狩市内には1月末現在で外国籍の方が510名在住していますが、その中には日本語でのコミュニケーションの難しさやもどかしさを感じている方、相談先がよく分からず心細く感じている方もいるかもしれません。

そこで、協会では石狩市からの負託を受け、在住外国人生活支援事業の一環として、新年度より市内在住外国人向け交流プログラムを実施することになりました。

まずは石狩のことを知っていただき、そして日本文化にも触れていただく予定です。プログラムを楽しむ過程の中で、日頃のちょっとした悩みや困りごとなどを気軽に相談できる環境を整えたいと考えています。

6月13日実施予定の石狩本町自然散策を皮切りに、夏はさくらんぼ狩り、秋はそば打ち体験など、アミーケ・インターナショナル棟の皆さんと知恵を出し合いながらプログラムを実施して参ります。



入会案内

石狩国際交流協会はカナダのキャンベリバー市、ロシアのワニノ市、中国の彭州市の三都市と友好親善交流を目的に発足いたしました。文化・スポーツなどの分野で姉妹都市と交流活動を行っており、会員として交流事業に参加していただければ幸いです。

■会費

個人 2千円/年間
個人事業主 5千円/年間
法人 2万円/年間

石狩国際交流協会会員数

(2021年1月31日現在)

法人会員 52名

個人会員 164名

イオン幸せの黄色いレシート

2013年に協会は「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録しました。

昨年度は826,934円分の黄色いレシートが投函され、その1%が協会に還元されます。

皆さまからのご協力をいただき、誠にありがとうございました。引き続きのご支援を宜しくお願い致します。

I.I.A.

Ishikari International Association

石狩国際交流協会

検索



<http://www.npoia.jp/>



<http://www.facebook.com/NPOIA>

◆発行・編集

特定非営利活動法人 石狩国際交流協会事務局

◆〒061-3216

石狩市花川北6条1丁目42 石狩市公民館内

TEL : (0133)62-9200

FAX : (0133)62-9201

E-mail : iaa@dream.ocn.ne.jp

